



高校生の滑りはすごい!

帯広農高スケート部を講師に教室

帯広農業高校スピードスケート部（坂東成監督、部員18人）を講師に招いてのスケート教室が1月4日、町営リンクで開かれ、町内少年団の児童15人がハイレベルな技術を学びました。

この教室は屈足南小の和賀和人校長の教え子が部員に在る縁で実施され、昨年に続いて2回目。陸上での指導、模範滑走を披露した後、高校生自らが滑走姿勢の手本を示しながら、児童たちにアドバイスをしていました。

お茶を通して高校生と交流

保育所「お茶会」

1月14日、新得保育所（鈴木貞行所長）にてお茶会が開かれ、園児45人が参加しました。

新得高校茶道部（小泉桃花部長）4人が来所し、お茶のいただき方を教わったり、年長組は自分たちでお茶をたてる経験もしました。

「おいしい」や「苦い」など、園児の反応はさまざまでしたが、貴重な体験となりました。



「冬休みなかよし学習塾」（全町教育推進本部主催）が1月7日から9日までの3日間、屈足南小学校で行われ、町内の小学生延べ107人が参加しました。

この塾は、町民などが先生となり、夏休みと冬休みの期間を利用して基礎的な学習や体験学習を指導しています。「冬休みなかよし学習塾」として6回目となった今回は、毎日算数の授業を行い学力向上に取り組んだほか、体験学習では理科実験や押し花、キャンドルづくりなどを行いました。

毎回多くのボランティアの協力をいただいている、この学習塾。今年も中学生13人、高校生7人を含み、延べ166人が指導にあたってくれました。

学習後のお昼ご飯では、高学年の児童が中心になって作ったカレーライスやホットドックなどを、ボランティアの方々と一緒にいただきました。

学習塾の詳細は、今月号に折り込みの「すくすく」にも掲載しています。

地域の「先生」から学ぶ3日間

冬休みなかよし学習塾



話題のアルバム

鬼なんてへっちゃらだ!

節分 1年の健康などを願い豆まき

1月31日に屈足保育園（堀川美津江園長）、2月3日に新得保育所（鈴木貞行所長）、新得幼稚園（小関 優園長）でゲームや豆まきを行いました。豆まきは、鬼に豆をぶつけることで邪気を追い払い、1年間の無病息災を願います。

鬼の登場に恐くて泣いてしまう子もいましたが、みんな勇気をもって豆をなげ、追い払いました。

最後にみんなで年の数の分豆を食べ、健康を願いました。



屈足保育園
報徳クラブのおじいちゃんおばあちゃんも
加わり鬼を撃退!!

鬼は外! 福は内!



新得幼稚園



新得保育所



打ちたて、ゆでたてのそばに舌鼓

屈束手打ちそばの会がやすらぎ荘を慰問

屈束手打ちそばの会（廣山輝男会長）が1月25日、やすらぎ荘（高畑訓子施設長）を訪問し、利用者にそばを振る舞いました。

毎年町内の福祉施設を慰問し、目の前でそば打ちを実演。できたてのそばを利用者に食べてもらっています。今回は会員7人が訪問。町内産のそば粉「レノカオリ」を使用し、「水回し」から「切り」までの工程を披露しました。途中、利用者が「のし」や「切り」に挑戦し、手ほどきを受けながら楽しそうに体験していました。

打ったそばはさっそく調理され、天ぷらをのせてお昼ご飯に。打ちたて、ゆでたてのそばをみんなでおいしくいただきました。

これ何て読む? 「万葉仮名」学ぶ

万葉集カルタ講座

新得短歌会（小野洋子会長）主催の「万葉集カルタ講座」が1月25日、町公民館研修室で開かれました。

新得高校の樋口かおり教諭が講師を務め、町民10人が参加。最初に、万葉集の特徴や歌の意味などについて説明を受け、また、「ひらがな」がない時代に漢字の意味（訓）と音を使った「万葉仮名」について学びました。「十六」と書いて「しし（四四十六の意味）」、「八十一」と書いて「くく」など、かけ算を用いた読み方も紹介され、参加者は驚いていました。

最後は樋口教諭手作りの万葉集カルタを使い、参加者全員でカルタ取り。万葉集約4500首の歌の中から14首が詠まれ、参加者たちは万葉仮名の読み方に苦労しながらも、万葉集が作られた時代背景や、歌に込められた気持ちなどを想像しながら楽しく学びました。

